



令和2年度(2020年度)学校教育目標

自ら学び、心豊かに、たくましく未来を切り拓く生徒の育成

校訓【自主・友愛・健康】

玉名市立天水中学校だより 第18号

ハンドルとエンジンとしての特別活動で児童生徒を成長させる

効果のある学校がスクールバスに例えられることがあります。これに習えば、特別活動は、そのハンドルとエンジンであると私は考えています。育成を目指す資質・能力を明らかにして、その方向へ舵を取るハンドルや推進力となるエンジンで児童生徒を動かしていく。そうした様々な特別活動を通して実動する中で児童生徒の成長が期待できます。

本校が市教委による特別活動の研究指定校であることをアピールする幕が完成しました。研究主題の原案は研究主任の先生によるものです。マスコットマークの「みかんちゃん」をあしらったデザインは、ふれあい1組担任の先生による数点の案から教職員で選定したものです。幕にはありませんが、



副主題として「主体的な学びの姿を引き出すカリキュラム・マネジメントを通して」があります。主体的な学びは対話的な学びにつながることで、より深い学びにできます。この点を意識して特別活動に取り組むことで、育成を目指す資質・能力が生徒たちに身に付いていくものと考えています。幕は今後、正門横に設置する予定です。

特別活動で児童生徒を成長させる その1「小天小学校持久走大会」

小天小学校持久走大会も特別活動（健康安全・体育的行事）です。

12月10日の大会当日、6年生は最後にグラウンドを整地して帰ってくれました。さすが最上級生だなあと感心しました。直接的ではないながらも本校と小天小でのメッセージのやり取りが行われました。本校からは3年主任の先生による応援メッセージ。小天小からは写真付きでお礼の言葉です。昇降口付近に掲示されたものを食い入るように見つめる中学生の姿があります。

その2「修学旅行」

修学旅行（12月16日～18日）も特別活動（旅行・集団宿泊的行事）です。感染拡大が懸念されるなか、2年生一人一人の自覚やご家族の理解と協力、そして現地をはじめ各旅程での万全の受入れ態勢で3日間の旅を無事終えることができました。出発式や解団式で話した「笑顔で出発、感謝で帰着」ができたことがなによりでした。この3日間で、44人の2年生が一回り成長した姿に、これからの特別活動（生徒会活動）をリードしてくれるであろうという期待を大きくしました。

その3「3年生クラスマッチ」

3年生のクラスマッチ（23日）も特別活動（健康安全・体育的行事）です。体育委員会を中心に生徒が主体となって学校行事を運営することで、自治の能力向上を図るねらいがあります。いよいよ来月から始まる入試を前に、「受験は団体戦」という意識をこのクラスマッチで高めることにつながったようです。

◇本校ホームページも随時更新しています。[天水中学校](#)で[検索](#)▶